

📖 シリーズ「きょうだいの思い」 23

更衣室の偶然

会社の更衣室で着替えていると、少し離れた場所から『...お兄ちゃん...障がい者...』と話し声が聞こえた。

その彼女は関連部署の人だったので、ある程度の面識はあった。私と同じように障がいのあるきょうだいがいるのだらうと思って、次の日に思い切って尋ねてみた。

知的と身体の障がいがあるお兄さんがいて入所施設で生活していること、若くしてお母様を亡くしていることを話してくれた。

そして、彼女が更衣室で同僚に話をしていた内容を教えてくれた。「職場のおばちゃんが、障がい者は気持が悪いとか嫌やとか言うから、めっちゃムカついて『私のお兄ちゃん、障がい者ですけど！そんなこと言わんといてくれませんか？』って言うたってん！おばちゃん、顔ひきつって黙ってたわ」更衣室で偶然に聞いた話は、怒り心頭の彼女が同僚に吐いていた愚痴だったのである。

なんだか私は気持が良かった。私は彼女のように立ち向かえないけど、話を聞いていて堂々たる彼女の姿勢が清々しかったのを覚えている。

お互いに同じきょうだいの立場である事で、少し踏み込んだ話もした。彼女が社内で公認の恋愛中の事は知っていたので、恋愛話にもなった。「彼氏に、お兄ちゃんの事は最初に話をしてるねん。施設の面会にも一緒に行ってくれてる。もしお兄ちゃんの事を嫌がるような人やったら付き合われへんわ！」

こう話す彼女の想いは、手に取るようにわかる。私も全く同じ思いだったからだ。

障がいのあるきょうだいの事を毛嫌いするような人とは絶対に交際なんて出来ない。きょうだいの事は自分の一部分である。そこを理解されないのは自分自身を理解されないのに等しい。きょうだいの事を理解されないから、その相手の事を『諦める』という次元の話ではない。ちょっと強気言えば、そんな人はこちらから願い下げである(笑)

避けていた訳ではないけれど、幼児期から過去をさかのぼってきて、そろそろ自分の恋愛話にも触れないといけない時がきた(笑)

まえほ
ま え ほ
つ う し ん
前穂通信

発行日	2013年8月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600



🗣️ 知的ガイドヘルパー養成講座開催のお知らせ

人材の養成及び、障がい(児)者の社会参加促進の一環として知的移動支援従業者養成研修の定期的な実施に取り組んでおります。次回は【8月19日(月)・8月26日(月)】の2日間です。お知り合いなど、ご興味をお持ちの方、ご一報お待ちしております。

☀️ お願い

今夏は急激な天候の悪化がとみに多発するとの報道もあり、それによりショートやガイドの予定変更等がおきてしまうのではと懸念しております。これまで通り、安全を第一に考えて進めてゆきたいと存じますので、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。